Tasco corporation Rydlyme(ライドライム)

整理番号 TC001 初版年月日2004年5月7日 改訂2012年10月1日 改訂2015年7月1日

安全データシート(SDS)

SDS No TC001

1.化学物質等及び会社情報

製品名:Rydlyme (ライドライム)用途:サビ・スケール洗浄剤

製造者: Apex Engineering Products Corporation,(USA)

住所: 1241 Shoreline Drive, Aurora,IL 60504

輸入元: 株式会社 タスコ

住所: 東京都港区六本木3-3-29-401

担当部門: 営業部

責任者: 代表取締役 武井 Stephen 雅史 担当者 総務主任 大内 恒人

電話番号: 03-3588-1923 FAX番号: 03-3588-1683

2.危険有害性の要約

 GHS分類
 急性毒性(経口)
 区分 5
 H303

 皮膚腐食性/刺激性
 区分 3
 H316

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B H320

※記載のない項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報 飲み込むと有害のおそれ(経口)

軽度の皮膚刺激

眼刺激

注意書き 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P280

指定された個人用保護具を使用すること。 P281 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。 P302+P352 特別な処置が必要である(このSDSの4、応急処置を参照) P321

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P332+P313

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。P305+P351+P338

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313

危険物質等の分類 刺激性物質 最需要危険有害性及び影響 刺激性物質

HMIS 健康被害の危険:通常(番号0)火災の危険:不燃(番号0)反応性:安定(番号0)

2/4 ページ

Tasco corporation Rvdlyme(ライドライム)

を理番号 TC001 初版年月日2004年5月7日 改訂2012年10月1日 改訂2015年7月1日

3.組成、成分情報

化学特性に関する情報 以下の通り(労働安全衛生法 第57条2通知対象物)

単一製品・混合物の区別 混合物

化学式含有率(%)塩化水素HCL5%-9%水H2O非開示その他非開示非開示

化審法番号 CAS No 安衛法番号 危険有害成分の濃度

化学名又は一般名

塩化水素 1-215 7647-01-0

水

その他 非開示 非開示

危険有害不純物

分析結果 検出限界 分析方法 総水銀(Hg) 検出せず 0.0005 mg/I原子吸光光度方式(AA) 検出せず 0.01 mg/l原子吸光光度方式(AA) ヒ素(As) 0.01mg/l 鉛(Pb) 検出せず 原子吸光光度方式(AA) 検出せず 原子吸光光度方式(AA) シアン(Cn) 0.1mg/l 総クロム(Cr) 検出せず 0.5 mg/l原子吸光光度方式(AA) カドミウム(Cd) 検出せず 吸光光高度法(VIS) 0.01 mg/I

4.応急処置 #情報#

吸入した場合液体品であり吸入によって急性毒性を起こすほどの危険性は少ない。

多量に吸入すると、吐き気、呼吸困難を起こすことがある。

空気の新鮮な場所に移動し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 傷や皮膚の敏感な所に付くと刺激がある。

触れた部分を、多量の水で洗い流す。

汚染した衣服は脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。

炎症、痛みなどが残れば、医師の手当を受ける。

目に入った場合
目にはいると、刺激を与え痛みを起こすことがある。

直ぐに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 直ちに、口・のどを水で洗い、コップ4~5杯の牛乳・卵白・寒天液又は水を飲ませる。

無理に吐かせず、直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の措置

消火方法
引火点はなく、自燃性はないが、周辺火災の場合は火元から遠ざけ、

容器等が燃えないようにする。

消化剤 全ての消火薬剤の使用可。

消化を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具を着用する。

状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

第8節で指定する保護具を着用する。

環境に対する注意事項 原液が漏洩した場合は、大量の水で希釈。又は重炭酸ソーダ(重曹)等で原液を吸着、中和。

付着物・廃棄物などは地域の法令に従って適切に処分する

封じ込め及び浄化の方法 使用可能な液体を回収し、残液をモップ等で拭き取る。

取り切れない場合は多量の水で希釈する。

改訂2015年7月1日

Tasco corporation Rvdlyme(ライドライム)

7.取り扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項事前にラベルやSDSを良くお読みください。

第8節で指定する保護具を着用する。

使用済みの容器を飲料用、その他の用途に使用しないこと。

保管上の注意事項 使用時以外は、容器を密封し直立の状態でまとめて一ヶ所に保管。

涼しく乾燥した、換気の良い場所で保管すること。

正規のラベルが貼られた容器で保管する。

適切な保管条件 屋内、外どちらでも可、但し温度は、-12℃~+81℃の範囲内に納める。

子供の手の届かないところに保管する。

8.ばく露及び保護措置

管理濃度 設定されていない

許容濃度 塩化水素:

日本産業衛生学会(1979) TLV-TWA 5 ppm/7.5mg/m3 ACGIH(1996)CEILING TLV-TWA 5 ppm/7.5mg/m3

(注)TLV-TWA:1日8時間、1週間40時間の労働時間内の時間荷重平均暴露許容濃度の勧告値

(注)CEILING:瞬間的にでも越えてはならないピーク濃度

設備対策 通常は、局所自然換気

換気扇等があれば尚望ましい

保護具

呼吸用保護具保護マスク(推奨)保護手袋合成ゴム手袋(推奨)保護眼鏡保護眼鏡着用

保護衣 長袖の作業着着用(推奨)

9.物理的及び化学的性質

色 淡黄色~濃褐色

形状 液体 比重 1.045 溶解性 水

臭気 ロースト アーモンド臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲沸点 100°C凝固点 −26°C以下引火点 無し

pH 約3以下(約20度)

その他データー 長時間保管した場合、淡黄色の上ずみ液の含有成分が分離・沈殿するが、

性能・安全性には影響無し。 使用前によく攪拌すること。

10.安定性及び反応性

化学的安定性 安定

混蝕危険物質 強アルカリ、酸化剤(漂白剤など)塩素化製品

有害分解生物 無し 有害重合生成物 反応せず 避けるべき条件 異常加熱

11.有害性情報

急性毒性 LD50 ラット 約2,000mg/kg

皮膚刺激性 刺激性を有する

目刺激性目が急と、刺激を与え痛みを起こす。

発がん性 無し

変異原生(微生物、染色体異常) 陽性(Ames)

その他

4/4 ページ

Tasco corporation Rvdlyme(ライドライム)

4/4・ペーン 整理番号 TC001 初版年月日2004年5月7日 改訂2012年10月1日 改訂2015年7月1日

12.環境影響情報

生態毒性 LC50: ミジンコ(48)時間:0.77%

LC50: オイカワ(96)時間:0.52%

残留性 分解性 生分解性

生体蓄積性 無し

土壌中の移動性 水溶性の為、土壌中の移動性は高い

その他 BOD: 50未満mg/I

COD: 10,000mg/l

13.廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄上の注意 ・国や地域の法令に従って適切に処分する。

空容器は、内容物を十分に排出し国や地域の法令に従って適切に処分する。

14.輸送上の注意

国際規制によるコード及び

分類に関する情報

化学名該当無し国連番号該当無しICSC該当無し海洋汚染物質該当無し

その他容器が破損しないようにし、乱暴な取り扱いを避ける。

アルミ容器などに、入れない。

15.適用法令

消防法 該当無し

大気汚染防止法該当無し輸出貿易管理令該当無し

毒物劇物取締法 該当無し

塩化水素 法 第2条の2別表第2の8番指定劇物対象物

法 第2条の2別表第2の94号の1の2の対象物(10%以下規定より除外) 該当無し

特定化学物質障害予防規則(特化則)

塩化水素 特定化学物質第3類物質対象物 該当有り

労働安全衛生法

塩化水素 法 第57条の2通知対象物 該当有り

水質汚濁防止法 法 第3条第1項(排出基準) 該当有り

船舶安全法 該当無し

特定化学物質移動届け(PRTR法) 該当無し

その他

16.その他の情報

RYDLYMEは非腐食性であるが、RYDLYME洗浄時に機器・配管等に腐食がある場合には腐食部分に対し露出させる場合がある。

ライドライム原液は、黄銅・アルミ合金(5000系・6000系・7000系)・マグネシウム・亜鉛・洋銀等の合金材質に対し影響を及ぼす場合がある。

通常は原液を水と1:1の50%に希釈して洗浄を行い、洗浄時間も短いため、ほとんど影響はない。 しかし、機器・配管等の素材によって影響の度合いに個別差が想定されます。

本データーシートは、化学製品の工業的な一般的取り扱いに際しての安全な取り扱いについて 最新の情報を集めたものであるが万全ではない。

新たな情報を入手した場合は追加又は訂正されることがある。

本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価をする事。 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。